

マナちゃんかわら版

マナちゃん&ユウくんのお世話インタビュー

ひろせ みつはる
広瀬 光治 先生



編み物は、糸一本からつくっていくおもしろさがあります。それが自分のものなのか、誰かのものなのか、いかようにも自分の意志を作品の中に込められるのが魅力です。

編み物業界のみならず多方面で活躍されている、「ニット伝道師」広瀬光治先生。今回、アフガン編み再ブームの火つけ役にもなった広瀬先生に、編み物をはじめたきっかけからその魅力まで、たっぷりインタビューです！

マナ せんせいよろしくにゃんっ

ユウ 先生にはほんま長いことお世話になります。改めてゆう感じになりますけど、編み物をはじめたきっかけを聞かせてもらえますか？

広瀬 私が生まれた昭和30年は、セーターは家で編むもので、そのセーターが小さくなったらまたほいて編み直す、だからほいてカセに戻すという商売があった時代なの。祖母がその内職をしていて、その手伝いから小学校3、4年生くらいにはじめて毛糸というものに触れました。作業の中でいろんな糸くすが出るので、それできさり編みを教えてもらったのが最初ですね。そこから本格的に始めたのは中学生でした。

マナ なにをあなたによ？

広瀬 最初は引き上げ長編みのミトン。結構はやってたんですよ。あとはマフラーとか小さなものを編んでいて、高校に入ったら、冬になると女子が全員編み物してたんですよ。そこでみんなセーターやベストが編めるんだということを知って、自分もいつかやってみたくて思ったんですけど、うちは母が全然できなかったんです。自己流でチャレンジしたのが高校2年の夏。修学旅行に持っていくために自分で編んでみようと思って、「男子の編み物」という本を買ったんです。そこで編んだのが、ハマナカの「アミーゴールド」で編むかぎ針のセーターでした。

ユウ その頃からもう使ってたのはあったんですなあ。おおきにい。

マナ ながーいおつきあいだにゃん！

広瀬 そうーハマナカさんの糸には、ほんとお世話になってます。そのほじめてのセーターを、先日展示会のために復活したんです。(写真)糸は廃番になっちゃってるので違う糸なんです



写真1

けど、当時はこれを編むために何度も失敗したんです。最初、本の通りに編んだはずなのに、自分のサイズより随分小さくなって。だってゲージって言葉を知らないんですよ。でも自分のお小遣いで買ったのにもったいないくらい全部ほいて、3回目ですとうつ型紙をつくりました(笑)自分の手は日によって変わるし、とにかくここに合わせればいいんだって。いわゆる原始的な方法ですけど、この経験があったので、2着目からはもうオリジナル作品にチャレンジできるようになってました。本のこの部分とこの部分を合わせて、あとは型紙に合わせていってね。そうやって編んでいるうちにゲージの意味も分かってくる、近所のおばちゃんに頼まれてお小遣いなんかもらいながら、一年に何枚かは編んでましたね(笑)

ユウ それはよろしおすなあ(笑)

広瀬 そのまま趣味で終わり、と思っていたんですが、入った会社が水産会社、普通にサラリーマンしていると、お昼休みになると暇じゃないですか(笑)だから席で編み物をしてたら先輩に教えてほしいって言われて。そんなことをしてのが編み物クラブをされる先生の耳に入りましたので、作品をお持ちしたら、もっと専門的に勉強しなさいってことになって、技芸学院(裏面参照)を紹介してくださったんです。ということでも本格的に勉強する、そしてまたまヴオグ社に入社できた。その中でも本を作ったり教えたり、ほんとにいるんな経験させてもらったことが今につながってる気がします。

ユウ 先生が思う、編み物の魅力は何ですか？

広瀬 糸一本から作っていくおもしろさですね。生地っていうのはどうしても柄でイメージが決まっちゃうじゃないですか。でも糸は、白い糸一本あればいかようにも自分の意思を作品の中に込められる。自分の表現方法の一つとして非常に性格に合ったんです。やっぱり、知れば知るほどおもしろいのが編み物です。初心者のときは誰でも失敗しますよ。でも失敗しても何度でもチャレンジできる、また一本の糸に戻る、そのおもしろさが分かったときに、挫折しない一つの理由になるのかもしれないですね。あと、私がマフラーからセーターにステップアップしたように、いきなり富士山に登るんじゃないかって、ハイキングの高尾山からはじまって、だんだん高い山の景色が見られるように、ステップを踏んでチャレンジしていくことで、より楽しさを感じられるんじゃないかなと、私の経験上思います。最初から一か月かかってもできないようなものじゃ、嫌になっちゃいますよね(笑)できそうなものからチャレンジしてほしいなと思います。

マナ マナちゃんもマフラーからあみはじめたにゃんっいまはおほっしもあるにゃんっ

ユウ マナちゃんもステップ踏んで成長はりましたなあ。ほなこのお話の続きはあむゆゑでご覧いただきまひゃ。

広瀬先生が今までで一番印象に残っているお仕事は!? インタビューの続きはあむゆゑでチェック！